

店

各位

平成14年5月21日

本店所在地 東京都港区六本木4-8-7 六本木三河台ビル
(登記上は東京都千代田区丸の内3-2-3)
会社名 グッドウィル・グループ株式会社
(コード番号: 4723 店頭上場銘柄)
代表者 代表取締役会長 折口 雅博
問合せ先 取締役管理本部長兼会長室長 金崎 明
電話番号 03 - 3405 - 9228

四半期の当企業グループの事業進捗状況について

当企業グループの第8期第3四半期(平成14年1月1日から平成14年3月31日まで)の事業の進捗状況についてお知らせ申し上げます。

1. はじめに

当四半期におけるわが国経済は、依然厳しい状況にありますが対外経済環境の改善や企業の在庫調整の進展により、輸出や生産で下げ止まりの動きが強まり、企業の景況感も悪化に歯止めがかかり一部に下げ止まりの兆しが見られます。一方個人消費は、完全失業率が高水準で推移するなど、雇用や所得をめぐる環境は依然厳しく予断を許さない状況にあります。

当社は、企業理念に『拡大発展』『社会貢献』『自己実現』を掲げる設立8年目のベンチャー企業であり、本業の軽作業請負事業を行う一方でグループ4社を統括する持株会社でもあります。当企業グループは、総合人材サービスのリーディングカンパニーです。「軽作業アウトソーシング事業」「総合介護事業」「EAP(カウンセリング)事業」分野で多角的に事業展開を図っております。

2. 当企業グループにおける事業の進捗状況

(1) 当企業グループ事業のセグメント別販売状況

(請負事業部門)

平成14年1月1日において㈱ラインナップと合併し、ラインナップ事業部を新設しました。同業界ながら当社との間では殆どの取引先に重複がなく、当社のシェアが少ない内装・イベント分野のシェアが高いため、規模の拡大・業界内のシェアアップ等のメリットを享受しています。また当社の豊富なデータベースに基づく動員力・対応力に㈱ラインナップの専門性を加えることによって、より多くのシナジーを確立いたしました。

またコンピューターシステム統合やスタッフの相互活用などにより、業務の合理化も可能になりました。

当四半期におきましては、これにより、より一層のシナジーを生むと共に、経営体質の強化、経営効率の向上を実現しております。

(人材関連事業)

当社子会社㈱グッドウィル・キャリアは、人材紹介・斡旋事業・人材に関する広告代理事業を行っており、経済情勢の悪化、リストラクチャリング、リエンジニアリングに伴う終身雇用の崩壊、人事の流動化を背景にホワイトカラー対象の総合ソリューションサービスの提供を目指しております。またカウンセリング重視による他社との差別化を図り、人事・人材に関する様々な問題に対応できるような展開を行っております。更に平成13年7月に合併した㈱グッドウィル・フォーサイトをフォーサイト事業部として社員サポートプログラム(EAP)事業を中心に展開しており、わが国でも例を見ないワンストップショッピングが可能な事業体とすることができました。

当四半期におきましては、EAP事業も好調な受注に加え合併による間接部門等の合理化により利益面でも急速に貢献しつつあります。当企業グループも、この市場の拡大を上回る成長を目指して人材の獲得・事業基盤の整備を進めております。

(投融資事業)

当社子会社㈱GWキャピタルは、ベンチャー企業向け投融資事業を行っており、急成長する企業に対し資金的な支援を行い、あわせてグループ内で経営を含めた人材支援を行う一方で、一般向け貸付事業も行っております。平成14年1月1日において㈱GWクレジットを合併しました。

当四半期におきましては、既存の貸付債権を回収し、その資金を借入返済にあて、資金の有効運用を図りました。

(医療・介護事業)

当社子会社㈱コムスは、24時間在宅介護サービス事業のパイオニアであり、21世紀における高齢化社会及び少子化社会において、今後の当企業グループの「総合人材サービス」事業の柱として成長が見込まれております。また、平成14年1月1日において訪問歯科サポートサービスを提供している㈱デンタル・コムス及び訪問看護業務を行っている㈱メディカを合併いたしました。このことにより医療の相互紹介やノウハウの交換などシナジーを生むと共に経営体質の強化、経営効率の向上を実現しました。

当四半期におきましては、ビジネスモデルの確立により平成13年4月に単月経常黒字化を達成して以降順調に単月経常黒字を計上し続けており、お客様へのサービスの質の向上とお客様満足度最大化をはかるとともに顧客増・売上増を達成しております。

(2) 第3四半期の連結売上高の状況

(単位：千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	14年6月第3四半期	13年6月第3四半期	増減率
		自平成14年1月1日 至平成14年3月31日	自平成13年1月1日 至平成13年3月31日	
セ	請負事業	7,408,527	6,076,148	21.9%
グ	人材関連事業	510,885	300,698	69.8%
メ	投融資事業	30,105	82,851	63.6%
ン	医療・介護事業	3,764,646	3,066,237	22.7%
ト	美容・健康事業	-	3,389,982	-
	その他	-	200,518	-
	計	11,714,165	13,116,436	10.7%

(注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2.当企業グループが行う業務は人員数、期間等が一樣ではなく、数量表示は困難でありますので記載しておりません。

3.事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。また、上記の金額は、セグメント間の内部売上高または振替高消去後の金額であります。

4.セグメント別区分について

請負事業 ... 軽作業(当社及び当社子会社株式会社ソア)

人材関連事業 ... EAP事業、人材派遣、斡旋、広告代理店事業(当社子会社株式会社グッドウィル・キャリア)

なお当期より、前期までその他事業に含まれておりました、EAP事業及び広告代理事業につきましては、主要会社である株式会社グッドウィル・キャリアと株式会社グッドウィル・フォーサイトの合併に伴い、同一セグメントに表示することにいたしております。その結果、前期連結会計年度と同様の区分によった場合に比し、その他事業の売上高は、119,495千円少なく計上されております。

投融資事業 ... ベンチャー企業等に対する投融資(当社子会社株式会社GWキャピタル)

医療・介護事業 ... 在宅介護、訪問看護(当社子会社株式会社コムスン)

なお、平成13年6月期第3四半期に区分掲載されている美容・健康事業については、平成14年6月期第1四半期から当該会社が連結対象ではなくなったため記載しておりません。

5.売上高の数値は、未監査であります。

(ご参考) 第3四半期までの連結売上高の状況(四半期累計)

(単位：千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	14年6月第3四半期	13年6月第3四半期	増減率
		自平成13年7月1日 至平成14年3月31日	自平成12年7月1日 至平成13年3月31日	
セ	請負事業	22,364,876	17,342,434	28.9%
グ	人材関連事業	1,567,272	684,419	128.9%
メ	投融資事業	307,136	516,407	40.5%
ン	医療・介護事業	10,812,841	9,295,734	16.3%
ト	美容・健康事業	-	9,648,585	-
	その他	-	900,280	-
	計	35,052,125	38,387,860	8.6%

(注) 人材関連事業のセグメントの変更に伴い、前期連結会計年度と同様の区分によった場合に比し、人材関連事業の売上高は、331,188千円多く、その他事業の売上高は、同額少なく計上されております。

(3) 第3四半期の連結損益計算書

(単位：千円、単位未満切り捨て)

科目	14年6月第3四半期 自平成14年1月1日 至平成14年3月31日 (A)		13年6月第3四半期 自平成13年1月1日 至平成13年3月31日 (B)		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
	売上高	11,714,165	100.0%	13,116,436	100.0%	1,402,271
売上原価	7,721,041	65.9%	9,065,936	69.1%	1,344,894	14.8%
〔売上総利益〕	3,993,123	34.1%	4,050,500	30.9%	57,376	1.4%
販売費及び一般管理費 (うち連結調整勘定償却)	2,957,109 (20,460)	25.3% (0.2%)	4,040,563 (41,056)	30.8% (0.3%)	1,083,453 (20,595)	26.8% 50.2%
〔営業利益〕	1,036,013	8.8%	9,937	0.1%	1,026,076	10,325.8%
営業外収益						
受取利息	2,559	0.0%	11,724	0.0%	9,164	78.2%
有価証券売却益	-	-	13,943	0.1%	13,943	-
その他の	59,223	0.5%	92,861	0.7%	33,638	36.2%
営業外費用						
支払利息割引料	33,543	0.2%	57,817	0.4%	24,273	42.0%
その他の	9,505	0.1%	15,816	0.1%	6,311	39.9%
〔経常利益〕	1,054,748	9.0%	54,833	0.4%	999,915	1,823.6%

(注) 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。

2.前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(\text{A})\text{当年第3四半期の実態} - (\text{B})\text{前年第3四半期の実態}}{(\text{B})\text{前年第3四半期の実態}} \times 100$$

3.上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経ていないものが含まれており、未監査であります。

(ご参考) 第3四半期の連結損益計算書(四半期累計)

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	14年6月第3四半期 自平成14年1月1日 至平成14年3月31日 (A)		13年6月第3四半期 自平成13年1月1日 至平成13年3月31日 (B)		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
	売上高	35,052,125	100.0%	38,387,860	100.0%	3,335,735
売上原価	23,146,071	66.0%	27,834,728	72.5%	4,688,657	16.8%
〔売上総利益〕	11,906,054	34.0%	10,553,132	27.5%	1,352,922	12.8%
販売費及び一般管理費 (うち連結調整勘定償却)	9,284,184 (61,380)	26.5% (0.2%)	14,579,586 (128,741)	38.0% (0.3%)	5,295,402 (67,361)	36.3% 52.3%
〔営業利益〕	2,621,869	7.5%	4,026,454	10.5%	6,648,323	-
営業外収益						
受取利息	8,834	0.0%	38,260	0.1%	29,426	76.9%
有価証券売却益	-	-	340,740	0.9%	340,740	-
その他の	129,776	0.4%	253,354	0.6%	123,578	48.8%
営業外費用						
支払利息割引料	101,594	0.3%	86,483	0.2%	15,111	17.5%
その他の	67,627	0.2%	58,808	0.1%	8,819	15.0%
〔経常利益〕	2,591,258	7.4%	3,539,390	9.2%	6,130,648	-

(注 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。)

2.前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(A)\text{当年第3四半期の実態} - (B)\text{前年第3四半期の実態}}{(B)\text{前年第3四半期の実態}} \times 100$$

3.上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経っていないものが含まれており、未監査であります。

(3) 第3四半期の連単倍率

(単位 : 千円、単位未満切り捨て)

科目	14年6月第3四半期 自平成14年1月1日 至平成14年3月31日 連 結		14年6月第3四半期 自平成14年1月1日 至平成14年3月31日 個 別		連単倍率
	金 額	百分比	金 額	百分比	
	売 上 高	11,714,165	100.0%	7,114,769	
売 上 原 価	7,721,041	65.9%	4,604,630	64.7%	1.67
[売 上 総 利 益]	3,993,123	34.1%	2,510,139	35.3%	1.59
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 (うち連結調整勘定償却)	2,957,109 (20,460)	25.3% (0.2%)	1,685,131 -	23.7% -	1.75 -
[営 業 利 益]	1,036,013	8.8%	825,007	11.6%	1.25
営 業 外 収 益					
受 取 利 息	2,559	0.0%	2,112	0.0%	1.21
そ の 他	59,223	0.5%	41,344	0.5%	1.43
営 業 外 費 用					
支 払 利 息 割 引 料	33,543	0.2%	24,718	0.3%	1.35
そ の 他	9,505	0.1%	9,734	0.1%	0.97
[経 常 利 益]	1,054,748	9.0%	834,011	11.7%	1.26

(注 1. 上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。)

2. 上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経ていないものが含まれており、未監査であります。

(ご参考) 第3四半期の連単倍率(四半期累計)

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	14年6月第3四半期 自平成13年7月1日 至平成14年3月31日 連 結		14年6月第3四半期 自平成13年7月1日 至平成14年3月31日 個 別		連単倍率
	金 額	百分比	金 額	百分比	
	売 上 高	35,052,125	100.0%	18,552,950	
売 上 原 価	23,146,071	66.0%	12,004,173	64.7%	1.92
〔売上総利益〕	11,906,054	34.0%	6,548,776	35.3%	1.81
販売費及び一般管理費 (うち連結調整勘定償却)	9,284,184 (61,380)	26.5% (0.2%)	4,524,426 -	24.4% -	2.05 -
〔営業利益〕	2,621,869	7.5%	2,024,350	10.9%	1.29
営業外収益					
受取利息	8,834	0.0%	14,780	0.1%	0.59
その他の	129,776	0.4%	122,694	0.7%	1.05
営業外費用					
支払利息割引料	101,594	0.3%	62,873	0.4%	1.61
その他の	67,627	0.2%	51,688	0.3%	1.30
〔経常利益〕	2,591,258	7.4%	2,047,263	11.0%	1.26

(注 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。)

2.上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経ていないものが含まれており、未監査であります。

(3) 株式会社コムスンについて

a) ㈱コムスンの当期連結業績に与えた影響について

㈱コムスは、平成13年6月期の期初から拠点の統廃合及び拠点毎の収益改善努力並びに営業強化などを行いました。この結果、平成13年4月に単月経常利益を計上することができました。

㈱コムスは当期から、拡大発展を目指す新たな局面を迎えております。具体的には、「攻撃は最大の防御」のスローガンのもと、他事業者への営業を含めてこれまで以上に営業強化をはかり、あわせて教育研修本部を設置し、量的な拡大のみならず、介護の質的な向上による顧客満足度アップにも努めております。

平成14年1月1日に訪問歯科サービスサポートの㈱デンタル・コムスン及び訪問介護の㈱メディカを合併しました。これにより総合的な介護サービスを提供できる体制を構築しました。

当四半期は、他の四半期と比較して稼働日数が少ない期ですが、社会全体の認知度が深まったこともあり、売上高は、前四半期と比較し、約200百万円増加しました。お客様のニーズに応えるため、ケアセンターを新規に17拠点設立し、積極的にケアスタッフの採用を進める先行投資を行ったため経営利益は減少しました。

(単位：千円)

	売上高	経常利益
当期第1四半期 (平成13年7/1～平成13年9/30)	3,243,749	200,257
当期第2四半期 (平成13年10/1～平成13年12/31)	3,566,009	201,027
当期第3四半期 (平成14年1/1～平成14年3/31)	3,764,646	190,405

上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経ていないものが含まれており、未監査であります。

b) ㈱コムスンのサービス提供顧客数及び顧客単価の推移

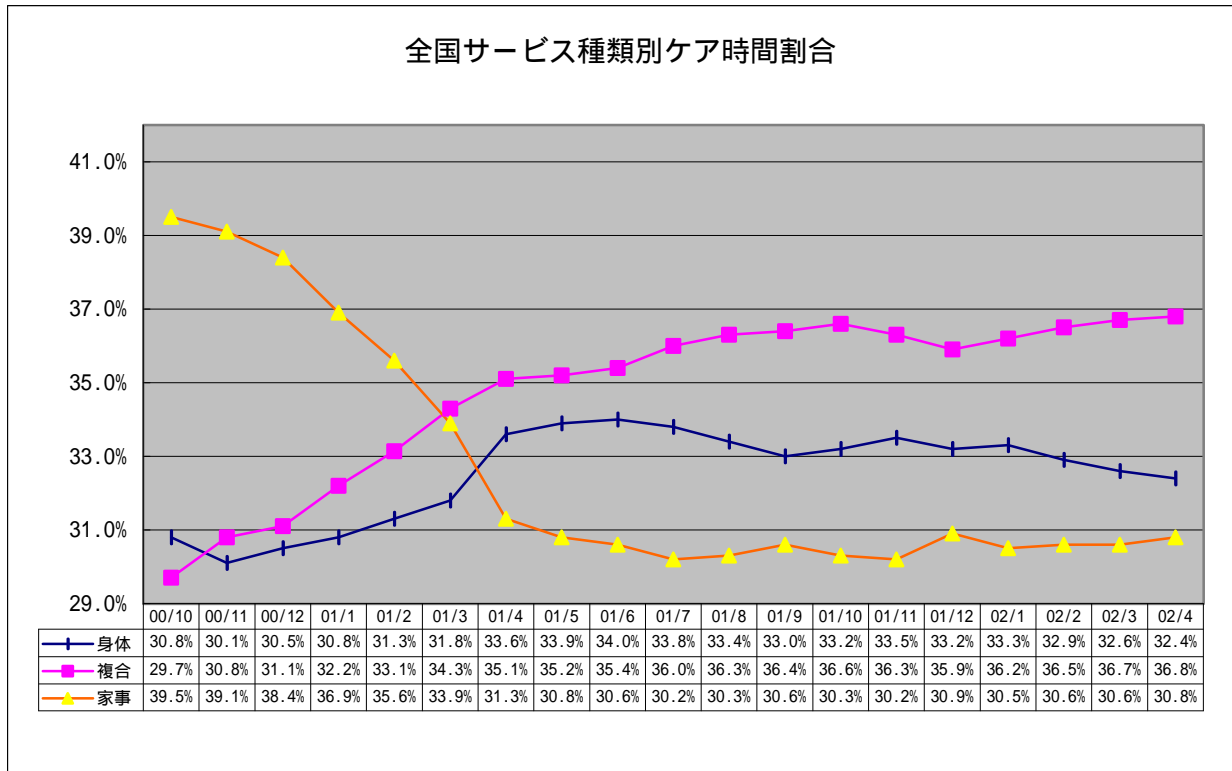
当期首から第3四半期までにおける、コムスンの「サービス提供顧客数」と「顧客単価」の推移は以下の通りであります。

	サービス提供顧客数(人)	前月比(人)	顧客単価(円)	前月比(円)
7月	14,859		66,024	
8月	15,165	+306	65,552	-472
9月	15,526	+361	64,201	-1,351
10月	16,244	+718	67,030	+2,829
11月	16,707	+463	64,492	-2,538
12月	17,238	+531	63,718	-774
1月	17,361	+123	62,081	-1,637
2月	17,563	+202	60,999	-1,082
3月	18,404	+841	65,887	+4,888
4月	19,206	+802	66,176	+289

(注) 当期より、コムスンの「サービス提供顧客数」と「顧客単価」につきましては、新しい集計基準を適用しております。集計対象サービスを「訪問介護サービス利用」「訪問入浴サービス利用」「介護と入浴両サービス利用」「自由契約訪問介護サービス利用」とし、月末締めにて請求書を発行したお客様の数を「サービス提供顧客数」といたしました。

また、コムスンの「顧客単価」につきましても、全売上高より集計対象サービス内容の売上高を抽出いたしまして、適用しております。

また、介護サービスケア内識別売上高の時間比率は以下の通りであります。



4. 平成14年6月期 連結業績予想の修正について

以上の第3四半期までの結果をふまえ、連結の業績予想は下記のとおりとなります。

(平成13年7月1日～平成14年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	47,500百万円	4,500百万円	2,300百万円
今回変更(B)	47,000百万円	3,500百万円	2,400百万円
増減額(B-A)	500百万円	1,000百万円	100百万円
増減率	1.1%	22.2%	4.3%

(参考) 前期実績との比較

	売上高	経常利益	当期純利益
前期実績(H13年6月期)	51,210百万円	3,128百万円	7,409百万円
今期予想(H14年6月期)	47,000百万円	3,500百万円	2,400百万円
増減額	4,210百万円	6,628百万円	9,809百万円
前期比増減率	8.2%	-	-